

カメ調査 Q&A



＜5月のGW中に捕獲し、マーキングしたカメたち by 生物同好会＞

Q1 『佐野市にあるイオンショッピングセンターの東側を流れる三杉川に生息しているカメの個体数を求めるにはどうしたらいい？』

A1： 全てのカメを捕まえて全個体数を求めることは不可能であるが、マーク・リキャプチャー（標識再捕法）によって、それを推測することは可能である。マーク・リキャプチャーとは、ある地点で捕獲した個体にマーク（標識）を付けて放し、再び捕獲（リキャプチャー）したデータから、直接数えることが困難な個体数を推定したりする方法である。

Q2 『捕獲した27個体のカメに標識をつけて放した。仮に、後日、同じ場所・方法で捕獲したところ、20個体が得られ、その中には前回、標識を付けた個体が5個体混じっていたとすると、この地点付近に生息するカメの個体数は何頭と推測できるか。』

A2： 上記のデータから、以下の比例関係が成り立つので、 $N = 27 \times 20 \div 5 = 108$ 個体。

全個体数N：最初の標識個体数(27)＝再捕獲した個体数(20)：再捕獲した標識個体数(5)

Q3 『カメのマーキングの方法は？』

A3： カメの甲羅にドリルで穴を開ける。どこに穴を開けたかで何番のカメかがわかるしくみで、この方法が一般的である。カメへのダメージはほとんどない。マイクロチップを埋め込む方法もあるらしい。



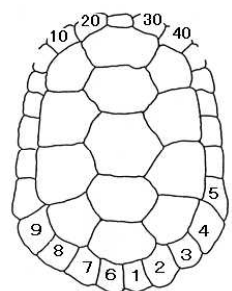
カメの計測。



ドリルでの穴開け



穴に針金をつける



↑ 例えば、25番の場合は、20と5の位置にそれぞれ穴を開ける。

